

いすみ鉄道の長期収支見込について

いすみ鉄道の今後の経営の状況を把握するため、平成19年度から平成48年度までの30年間の長期収支について試算する。

1 輸送人員

平成18年度の見込みを基準に試算する。

(単位:人)

	通勤定期		通学定期		定期外		合計	
平成18年度	53,280	100	317,516	100	118,698	100	489,494	100
平成19年度	52,939	99	311,535	98	125,874	106	490,348	100
平成28年度	53,085	99	278,443	88	170,769	144	502,298	103
平成38年度	49,784	93	236,967	75	161,542	136	448,293	92
平成48年度	46,688	88	201,669	64	152,889	129	401,246	82

輸送人員の推計にあたっては、基本的には将来の沿線人口の推移に比例するものとして利用者推計値を設定し、これに新駅の設置等による利用者の増加要因を考慮した。

(1) 利用者推計値の設定

ア 通勤定期利用者

平成17年度までの過去5年間の平均は、9.4%の減少であるが、平成18年度に利用者が大幅に増加し、平成18年度は53,280人を見込む。

平成19年度以降は、沿線人口の推移に比例すると見込む。

▲0.64% (減員率 0.9936)

イ 通学定期利用者

沿線年少人口の推移に比例すると見込む。

▲1.60% (減員率 0.9840)

ウ 定期外利用者

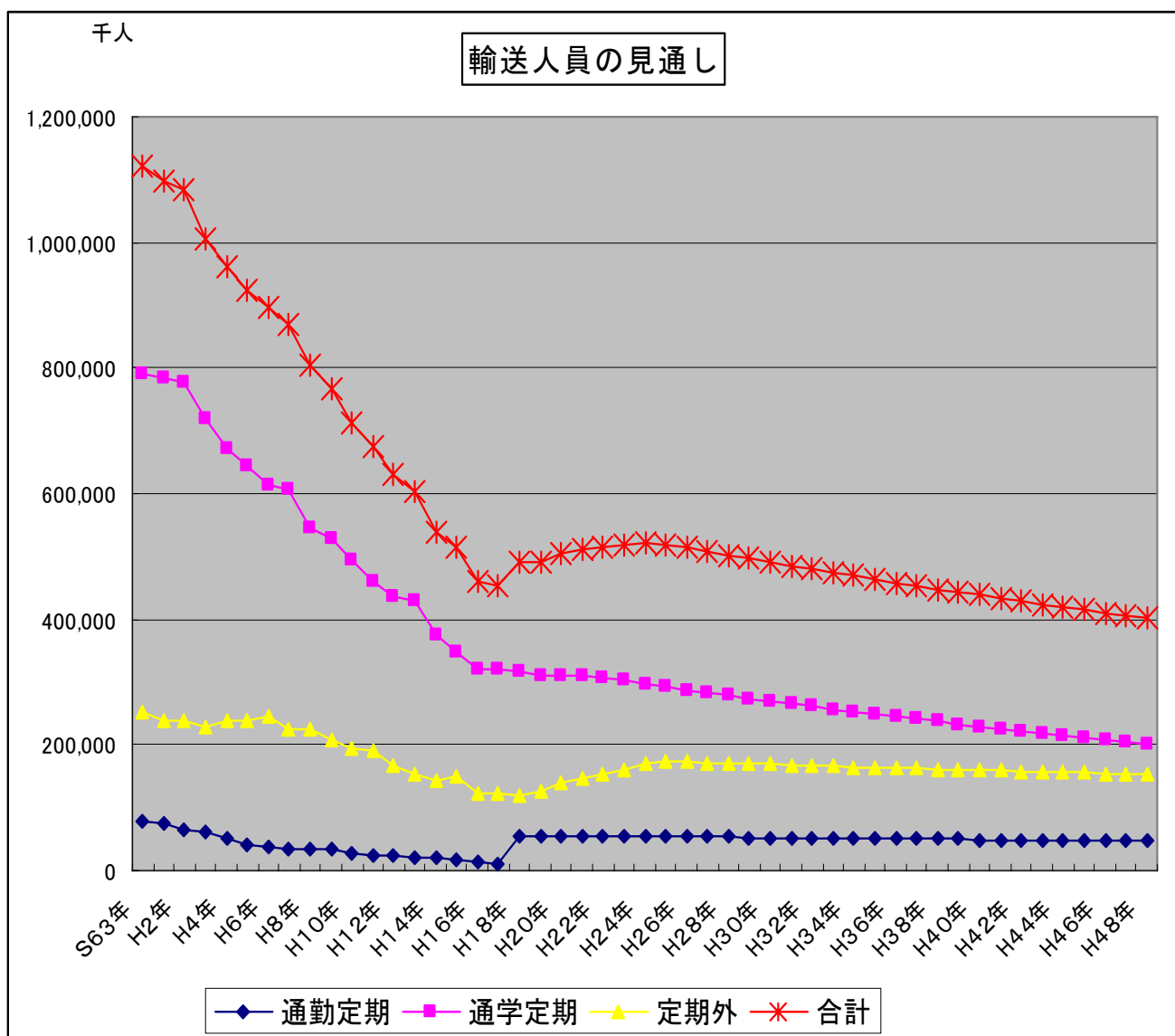
沿線人口の推移に比例すると見込む。

▲0.64% (減員率 0.9936)

(2) 利用者増加要因

- ・ 船子新駅の設置 (170人/日)
- ・ 大多喜町町並み整備 (30人/日)
- ・ 交流人口(観光等)増加対策
- ・ 住民の利用促進
- ・ 企画旅行等の実施

□ 輸送人員の見通し



2 収支見込

(単位：千円)

	収 入		収入計	支 出	収 支	備 考
	旅客運輸 収 入	その他 収 入				
平成 19 年度	97,729	6,800	104,529	236,700	▲132,171	
平成 23 年度	109,284	6,800	116,084	271,700	▲155,616	車両更新含む
平成 28 年度	109,251	6,800	116,051	236,000	▲120,649	
平成 33 年度	104,301	6,800	111,101	236,700	▲125,599	
平成 38 年度	99,644	6,800	106,444	236,700	▲130,256	
平成 43 年度	95,259	6,800	102,059	236,700	▲134,641	
平成 48 年度	91,128	6,800	97,928	271,700	▲173,772	車両更新含む

(1) 収入見込み

① 旅客運輸収入

上記 1 の輸送人員の見込みに、券種別平均単価（過去 5 年間）を乗じて算出。

平成 13 年～平成 17 年の平均単価

通勤定期	1 9 1 円
通学定期	1 3 7 円
定期外	3 5 7 円

② その他収入

運輸雑入、旅行業収益、営業外収益の過去 5 年間（平成 13 年～平成 17 年）の平均

運輸雑入	2, 9 7 0 千円
旅行業収益	9 5 0 千円
営業外収益	2, 8 8 0 千円
計	6, 8 0 0 千円

(2) 支出見込み

① 維持管理費

過去 5 年間（平成 13 年～平成 17 年）の実績から算出

人件費	1 3 6, 0 0 0 千円	租税公課	3, 7 3 0 千円
動力費	8, 0 0 0 千円	減価償却	9, 2 7 0 千円
業務費	3 6, 5 0 0 千円	計	1 9 3, 5 0 0 千円

② 修繕費

今後 3 0 年間の修繕費を試算（年平均）

設備関係	3 3, 0 5 2 千円	軌道、建設、機械、土木、電気
車両関係	1 0, 2 0 7 千円	定期点検等（車両更新費除く）
計	4 3, 2 5 9 千円	

③ 設備投資

車両更新

事業者負担 350,000千円 (平成48年度まで10両更新)

※ 車両価格 1両 105,000千円

※ 近代化補助 国1/3 自治体1/3 事業者1/3

※ 更新計画

①平成21年度～26年度まで各年1両更新 合計6両

②平成45年度～50年度まで各年1両更新 合計6両

橋梁・設備等改良

大規模修繕等見込まない

□ 営業収支の見込み

